Panasonic

パナソニックコンピューター

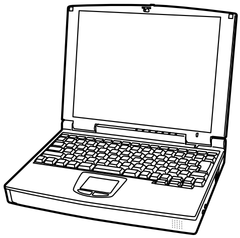
AL-N1

セットアップガイド（Windows 3.1用）

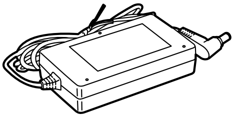
梱包物の確認

下記のものがすべてそろっているか確かめてください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

本体

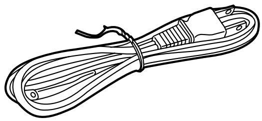


AC アダプター

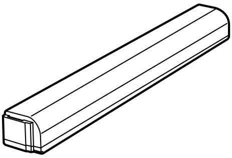


品番：AL-AA170

AC コード

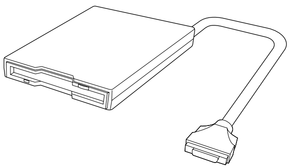


バッテリーパック（2 本）



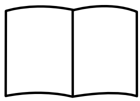
品番：AL-NFBL010J

外付け フロッピーディスクドライブ



品番：AL-NFFE010J

取扱説明書

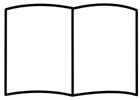


その他の印刷物

- ●保証書
- ●ご相談窓口のご案内
- ●ご愛用者登録カード／ソフトウェアサポートカード
- ●マイクロソフト社のCertficate of Authenticityカード
- ●マイクロソフト社のユーザー登録カード
- ●サムシンググッド社のユーザー登録カード

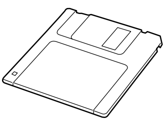
セットアップガイド

（本書）

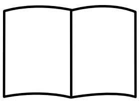


フロッピーディスク

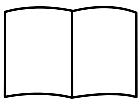
保存ディスク



日本語入力ガイド MS IME for Windows



Windows Quick ユーザーズガイド



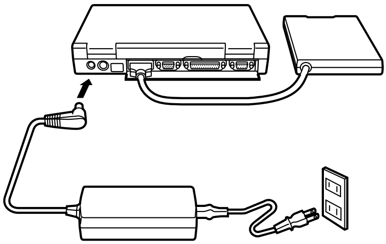
はじめかた・終わりかた

本機には、Microsoft® MS-DOS® Version6.2/V（以降 MS-DOS）と Microsoft® Windows® Version3.1（以降 Windows）があらかじめインストールされています。ここでは、初めて電源を入れて Windows の操作に入るまでの手順を説明します。

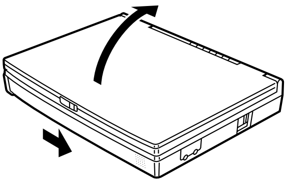
はじめかた

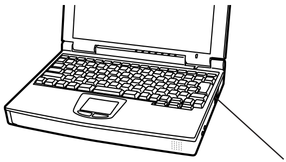
1. AC アダプターを接続する。

付属の専用ACアダプター (品番：AL-AA170) を使用してください。それ以外のACアダプターや市販のカーアダプターなどは絶対に使用しないでください。
コンピューター本体に AC アダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。



2. ディスプレイを開けて、電源を入れる（電源スイッチを押す）。





ライセンスアグリーメント画面が表示されます。
画面の表示と取扱説明書の「ソフトウェア使用許諾書」(P. 9) と「TranXit 使用許諾書」(本書 P. 15) をよく読み、内容を確認してください。

3. ライセンスアグリーメント画面の内容を承諾し、[Y] キーを押す。

自動的に MS-DOS と Windows が起動され、ライセンスアグリーメントの画面が表示されます。

◆２回目以降に起動する場合

２回目以降に起動したときには、ライセンスアグリーメントの画面は表示されません。
電源スイッチを入れると、自動的にWindowsの画面が表示されます。

4. 日付と時間を設定する。

Windows 上の「メイン」グループの「コントロールパネル」を開けて、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックし、日付と時刻を設定します。
(最初に設定しておくと、次回電源を入れたときに、再度設定する必要はありません。)

参考

フラットパッドおよびマウスの基本的な操作は以下の通りです。

クリック　：左または右ボタンを押して離す。また、左クリックはフラットパッドを 1 回軽く叩くことでもできます。

ダブルクリック　：左または右ボタンを続けて2回すばやく押して離す。また、左ボタンのダブルクリックは、フラットパッドを続けて 2 回軽く叩くことでもできます。

ドラッグ　：左または右ボタンを押したまま、フラットパッドを操作する。また、左ボタンでのドラッグは、フラットパッドを続けて 2 回軽く叩き、2 回目に叩いたときにそのまま指を移動させ、目的の場所でフラットパッドを 1 回叩くこともできます。

２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。
通常は左ボタンで動作します。

◆インストールディスクについて

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど､再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず、インストールディスクを作成しておいてください。(作成方法については、4 ページを参照してください。)
インストールディスクの作成には､フロッピーディスク (2HD) 28枚が必要です。

終わりかた

1. Windows を終了する。

以下のいずれかの方法で終了させます。

●ダッシュボードの「Win 終了」をクリックする。

●プログラムマネージャーの「アイコン」メニューを選択して､「Windowsの終了」をクリックする。

2. 電源を切る。

お願い

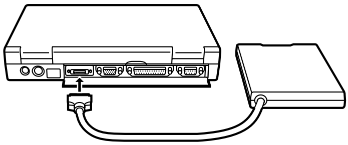
●電源を切るときは、必ず WIndows を終了してください。終了しないで電源を切ると、ハードディスクのデータを壊してしまうおそれがあります。

●電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。

インストールディスクの作成のしかた

まず、フロッピーディスク（2HD）を 28 枚、準備してください。
1.44M バイトにフォーマット済のフロッピーディスクを使用すると、インストールディスクを早く作成できます。

1. **外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。**



2. **ディスプレイを開けて、電源を入れる。**
Windows の画面が表示されます。

3. **Windows を終了する。**

4. **MS-DOS プロンプト（C：\ ＞）に続けて、以下のように入力する。**

CD \MKD [Enter]
MKDISK [Enter]

5. **以降、メッセージに従って操作する。**

お願い

画面に表示されるフロッピーディスクの名称（保存ディスク 1 など）を、ラベルに書いてフロッピーディスクに貼っておいてください。

初期環境を再インストールする

MS-DOS や Windows などは、あらかじめハードディスクにインストールされていますが、ハードディスクが壊れたり、内容を消去してしまった場合、以下の手順に従って、再インストールすることができます。
再インストールの際には、フロッピーディスクを使用しますので、あらかじめ、外付けフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。また、はじめて起動したときに作成したインストールディスク（28 枚）を使用しますので、準備してください。

お願い

- 再インストールを実行すると、現在のハードディスクの内容はすべて消去されますので、ご注意ください。
- 再インストール中は、電源を切ったりサスペンド状態にならないようにしてください。

1. ＜ MS-DOS のインストール＞

あらかじめ作成しておいた「MS-DOS DISK1」をフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクからシステムを起動します。
画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。
お買い上げ時の設定にするには、各項目を次のように設定してください。

項目	設定値
キーボード	106 日本語キーボード
組み込み先　DIRECTORY	C：¥DOS
プリンタの設定	ESC ／ P プリンタ
日本語入力システムの設定	はい
入力方式	ローマ字
全角／半角	全角
変換方式	連文節変換
辞書の学習	学習する
コード入力方式	シフト JIS
入力位置	システムライン

2. ＜Windows のインストール＞

MS-DOS のインストールが終了したら、あらかじめ作成しておいた「Windows DISK1」をフロッピーディスクドライブにセットし、MS-DOSのプロンプト（A:¥＞）に続いて以下のように入力します。

SETUP　[Enter]

画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。

お買い上げ時の設定にするには、各項目を以下のように設定してください。

項目	設定値
コンピュータ＊	MS-DOS System with APM
ディスプレイ＊	CHIPS 65550　800×600　64K色
マウス	マイクロソフトマウス
キーボードの種類	106日本語キーボード
言語	日本語
コードページ	日本語（コードページ932）
ネットワーク	ネットワークなし
日本語入力システム	MS IME
スワップファイル	一時（8192KB）
32 bit disk access	しない
プリンタ	EPSON VP-1700

＊コンピュータ、ディスプレイは、手順7で上記の値に設定し直します。

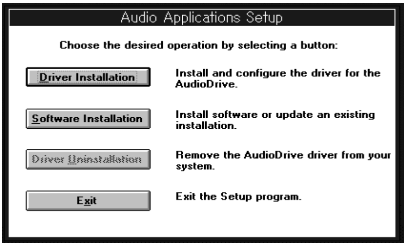
3. ＜ESS のインストール＞

MS-DOSのプロンプト（C:¥＞）に続いて以下のように入力し、Windowsを起動します。

WIN　[Enter]

あらかじめ作成しておいた「ESS AUDIO DRIVER ディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、プログラムマネージャーの「メイン」グループから「ファイルマネージャ」をダブルクリックします。「ファイルマネージャ」でAドライブを選択し、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。インストールを行う場合は「Continue」を、やめる場合は「Exit」を選択します。

「Continue」を選択すると、以下の画面が表示されます。



(1) Driver Installation をダブルクリックし、ドライバーをインストールします。
(2) Software Installation をダブルクリックし、オーディオアプリケーションソフトをインストールします。
(3) Exit をダブルクリックし、終了します。

4. <ダッシュボードのインストール>

MS-DOS のプロンプト（C：￥＞）に続いて以下のように入力し、Windows を起動します。

WIN　[Enter]

あらかじめ作成しておいた「DASHBOARD LIGHT DISK」をフロッピーディスクドライブにセットし、プログラムマネージャーの「メイン」グループから「ファイルマネージャ」をダブルクリックします。「ファイルマネージャ」で A ドライブを選択し、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
画面に表示されるメッセージに従って、インストールします。

5. < TranXit のインストール>

MS-DOS のプロンプト（C：￥＞）に続いて以下のように入力し、Windows を起動します。

WIN　[Enter]

あらかじめ作成しておいた「TRANXIT ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、プログラムマネージャーの「メイン」グループから「ファイルマネージャ」をダブルクリックします。「ファイルマネージャ」で A ドライブを選択し、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
画面に表示されるメッセージに従って、インストールします。

6. ＜ビデオドライバーのインストール＞

あらかじめ作成しておいた「CHIPS VIDEO DRIVER DISK」をフロッピーディスクドライブにセットし、MS-DOSのプロンプト（C:¥＞）に続いて以下のように入力します。

A:　[Enter]
SETUP　[Enter]

画面に表示されるメッセージに従ってインストールします。
以下の項目を選択してインストールします。

インストールするドライバー	Windows Version 3.1
導入先	C:¥WINDOWS

7. ＜ユーティリティープログラムのインストール＞

(1) あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、MS-DOSのプロンプト（C:¥＞）に続いて以下のように入力します。

A:¥REST　[Enter]

画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。

(2) MS-DOSのプロンプト（C:¥＞）に続いて以下のように入力し、Windowsの設定を修正します。

CD WINDOWS　[Enter]
SETUP　[Enter]

以下の項目を設定します。

コンピュータ	MS-DOS　System with APM
ディスプレイ	CHIPS 65550　800×600　64K色

(3) MS-DOS のプロンプト（C：￥＞）に続いて以下のように入力し、メモリーを効率よく使用できるようにします。

MEMMAKER [Enter]

画面に表示されるメッセージに従って操作します。

PC カードデバイスドライバー＆ユーティリティー

◆インストールのしかた

PCカードを使用するためには、PCカード用のデバイスドライバーをインストールする必要があります。以下にその手順を説明します。

◆インストールを行う前に

セットしている PC カードをすべて抜いて、再起動してください。

1. PC カードインストールプログラムを起動します。
MS-DOS のプロンプト（C：¥＞）が表示されている状態で、以下のように入力します。

CD ¥UTIL¥PCCARD [Enter]
INSTIC [Enter]

2. 使用する PC カードの種類を選択する画面が表示されます。使用するカードの番号を入力してください。「メモリカード、PC ATA カード」、「モデムカード」、「メモリカード、PC ATA カード、モデムカード」、「カードサービス＆ソケットサービスのみ」の 4 種類から選択します。

参考
メモリーカードと PC ATA カードは必要なデバイスドライバーが同じなので、「メモリカード、PC ATA カード」としてひとつの項目にまとめられています。

3. CONFIG.SYSにPCカード用デバイスドライバーを登録するかどうかのメッセージが表示されます。登録する場合は、［Y］キーを押します。元の CONFIG.SYS は CONFIG.YOU というファイル名で保存されます。
CONFIG.SYS には、以下の行が登録されます。

DEVICE=C：¥DOS¥EMM386.EXE X=CA00～CFFF ＊注 1）
DEVICE=C：¥UTIL\PCCARD¥IBMDSS01.SYS
DEVICE=C：¥UTIL\PCCARD¥IBMDOSCS.SYS
DEVICE=C：\UTIL\PCCARD\DISKDRV.SYS ＊注 2）
DEVICE=C：¥UTIL\PCCARD¥AUTODRV.SYS C：\UTIL¥PCCARD¥AUTODRV.INI ＊注 3）

注 1）元の CONFIG.SYS に EMM386 が登録されている場合、上記の設定に書き換わります。アプリケーションソフト等が起動できなくなる場合がありますので、必ず元のオプションスイッチを追加してください。（元の行の先頭に REM が付きます。）
注 2）4 種類のうち「メモリカード、PC ATA カード」を含む選択をした場合。
注 3）4 種類のうち「モデムカード」を含む選択をした場合。

4. WindowsのSYSTEM.INIファイルを書き換えるために、SYSTEM.INIの標準のドライブ名とディレクトリー名が表示されます。（SYSTEM.INIファイルは、Windowsがインストールされているディレクトリーにあります。）
表示されたドライブ名とディレクトリー名にWindowsがインストールされている場合は、[Enter] キーを押してください。
表示されたドライブ名とディレクトリー名と別のところにWindowsがインストールされている場合は、そのドライブ名とディレクトリー名に変更して、[Enter] キーを押してください。
Windowsがインストールされていない場合は、表示されたドライブ名とディレクトリー名のままで、[Enter] キーを押してください。

5. Windowsがインストールされている場合は、SYSTEM.INIを書き換えるかどうかの確認メッセージが表示されます。書き換える場合は [Y] キーを、書き換えない場合は [N] キーを押してください。
SYSTEM.INIは、以下のように書き換えられます。

[386Enh]
emmexclude=CA00～CFFF （追加）
;device=＊vcd （モデムカードのときこの命令は無視）
device=\UTIL\PCCARD\VCDMEI.386 （以降、モデムカードのとき追加）
COMVerifyBase=FALSE
COM1Base=3F8
COM2Base=2F8
COM3Base=3E8
COM4Base=2E8
COM1IRQ=4
COM2IRQ=3
COM3IRQ=15
COM4IRQ=15

3 モード FD 対応ユーティリティー

外付けフロッピーディスクドライブで、3.5インチ2HDフロッピーディスクを1.2Mバイトフォーマット（8セクター）で使用するためには、3モードドライバー（FD3MODE.COM）が必要です。1.2Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットするには、FORMAT3コマンドを使います。
3モードドライバーとFORMAT3コマンドは、お買い上げ時にハードディスクにインストールされています。

お願い

- ●FORMAT3コマンドでフォーマットしたフロッピーディスクを他のコンピューターで扱う場合、および他のコンピューターで1.2Mバイトにフォーマットしたフロッピーディスクを本機で扱う場合、そのフロッピーディスクに対する書き込みが正常に行えない場合があります。
- ●マイクロソフト株式会社から提供されている3モード対応ドライバー1024FD.EXEは、本機では動作しません。
  1.2Mバイト3.5インチフロッピーディスクを使用する場合は、FD3MODE.COMが必要です。
- ●1.2Mバイト3.5インチフロッピーディスクに対して動作するコマンドは、ファイルの読み書きを行うコマンドおよびDISKCOPYコマンドです。
  SCANDISKコマンドのようにディスクのセクター／クラスターを直接操作するコマンドやMSBACKUPコマンドのようにコマンド自体が1.2Mバイト3.5インチフロッピーディスクをサポートしていないものは正常に動作しません。
- ●Windowsのファイルマネージャーの「ディスク」の「フロッピーディスクをコピーする」は1.2Mバイトフロッピーディスクには対応していません。正常には動作しませんので、1.2Mバイトフロッピーディスクに対しては実行しないでください。
- ●FD3MODEを組み込んだ状態でDBLSPACEコマンドを実行すると「互換性のないディスクキャッシュプログラムが組み込まれています」というエラーメッセージが表示されます。DBLSPACEを実行するときはFD3MODEを組み込まないでください。

参考

3モードドライバー　FD3MODE.COMについて

機能　外付けフロッピーディスクドライブで1.2Mバイトのフロッピーディスクを扱えるようにします。

書式　[<ドライブ名>:]　[<パス名>]　FD3MODE.COM

注意　出荷時には、FD3MODE.COMはAUTOEXEC.BATに登録されており、システム起動時に自動的に組み込まれます。

参考

外部コマンド　FORMAT3 について

書式　FORMAT3 [ドライブ名:] [/V [:ラベル]] [/Q] [/1024] [/512]

解説　外付けフロッピーディスクドライブで 3.5 インチ 2HD フロッピーディスクを 1.2M バイトでフォーマット（初期化）します。

オプションスイッチ

/V: ラベル	ボリュームラベル（半角で１～11 文字）を指定します。
/Q	ファイルアロケーションテーブル（FAT）と以前にフォーマットされたディスクのルートディレクトリーを削除しますが、ディスク上の不良個所の検査はしません。このスイッチは、以前に不良個所のない状態でフォーマットされているディスクをフォーマットするときにだけ、使用してください。
/1024	2HD のディスクを８セクター（1024 バイト / セクター）フォーマットで初期化します。ディスクの容量は、1232Kバイトになります。オプションを付けない場合は、このフォーマットで初期化されます。
/512	2HD のディスクを 15 セクター（512 バイト / セクター）フォーマットで初期化します。ディスクの容量は、1200K バイトになります。

注意　システム転送はできません。
UNFORMAT はできません。

本体仕様

機種		AL-N1T513J3
CPU		Pentium™ 133MHz
メモリー	メイン RAM	標準：16 M バイト（EDO）、最大：32 M バイト（オプション 16 M バイト装着時）
	外部キャッシュ	256 k バイト（パイプラインバースト SRAM）
	ROM	128 k バイト
	ビデオメモリー	1 M バイト（EDO）
ハードディスクドライブ		1.0 G バイト
表示機能	テキスト表示	80 文字× 25 行
	グラフィック表示	解像度：800 × 600 ドット
		色数：65536 色
	漢字表示	日本語 40 文字× 25 行
入力装置	キーボード	総数 88 キー
	フラットパッド	静電容量方式、タッピング機能付き
インターフェース	プリンター	セントロニクス準拠 D-sub 25 ピン
	RS-232C 規格	RS-232C D-sub 9 ピン
	拡張キーボード マウス テンキーボード	PS/2 タイプ
	EXT, DISPLAY	アナログ RGB D-sub 15 ピン
	音声	マイク入力（MIC ミニ M3）× 1 ヘッドホン出力（PHONES ミニ M3 32 オーム 0.24 mW）× 1
	赤外線通信ポート	IrDA-SIR 準拠、最大 115.2kbps
カードスロット	PC カード専用	タイプ II × 2 スロット　または　タイプIII× 1 スロット （5 V で 600 mA *1 ／ 12 V で 100 mA*1）
	RAM モジュール専用	1 スロット
オーディオ機能		PCM 音源（Sound Blaster 互換）FM 音源　スピーカー搭載
時計機能		クロックバッテリーバックアップ　月差± 60 秒
電源	入力	AC アダプター 15 V（入力 AC100-240 V、 50/60 Hz） バッテリーパック 10.8 V（Li-Ion）
	消費電力*2	約 25W（約 22W *3）
バッテリー稼働時間		標準約 3（最大約 6）時間
外形寸法（幅×奥行×高さ）		255 × 192 × 41 mm
質量		1.47kg（1.62 kgバッテリー 2 本のとき）
使用環境条件		温度：5〜35 ℃　湿度：30〜80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア		MS-DOS 6.2/V、Microsoft Windows3.1、Dashboard ライト™、 TranXit™ for Windows、各種ドライバーなど
フロッピーディスクドライブ		外付け 1 ドライブー 3.5 インチ（1.44 M/1.2 M/720 k バイト）

ハードディスクドライブの容量は 1 M バイト＝ 10^6 バイト表記です。

***1** 2 スロット合計の許容電流です。

***2** 動作中の最大消費電力です。

***3** 電源オフ時、バッテリー充電中の表記です。
また、電源オフ時、バッテリーの消費電力は約 80 mW です。

PUMA TECHNOLOGY, INC. からエンドユーザーへのお知らせ、および使用許諾契約

エンドユーザーへのお知らせ: 以下の法的な取決めをよく注意してお読みください。お客様のコンピューター・システムに導入済みの TranXit（TM） ソフトウェア（以下「ソフトウェア」と呼びます）は、お客様が以下の条件を受諾することによってその使用が認められます。この契約の条件に同意しない場合は、コンピューター・システムのソフトウェアを即座に削除し、そのソフトウェアまたはシステムに付属しているソフトウェアの導入ディスケットから作成したいかなるコピーも破壊し、本ソフトウェアについて記載された所有資料のすべてを処分してください。

著作権: 本ソフトウェアは、米国著作権法および国際条約により保護されています。お客様は、本ソフトウェアの知的財産権が何らお客様に譲渡されないことを承認するものとします。またお客様は、本ソフトウェアの完全な所有権が Puma の排他的財産であり続けること、および本使用許諾契約に明示されていることを除き、お客様が本ソフトウェアに対するいかなる権利も取得しないことを承認するものとします。お客様は、本ソフトウェアのいかなるコピーにも、その外部および内部に同じ著作権表示が含まれることに同意するものとします。

使用許諾: Puma は、お客様が個人として本ソフトウェアのコピー１部を２台のコンピューターで同時に使用することを、非独占的に許諾します。本ソフトウェアの使用許諾は、本契約書の条件に従います。お客様は、本ソフトウェアを必要な数だけコピーし、本使用許諾に従って使用することに同意するものとします。使用許諾は、本ソフトウェアの各エンドユーザーごとに必要です。本ソフトウェアを (1) ファイル転送を実行するために第三者が所有する PC に一時的に導入し、(2) その PC からはすぐに削除する場合を除き、使用許諾はそれぞれの導入先 PC の数だけ必要です。お客様は、保存用の目的に限って本ソフトウェアのコピーを１部作成できます。

エンド・ユーザーのサポート: このバージョンの TranXit ソフトウェアは、独立したコンピューター製造者から導入済み（プリインストール）アプリケーションとして購入されたものであり、このソフトウェア単独での再販は行っていません。この製品のエンド・ユーザー・サポートは、製造者が行います。Puma では、Puma からの直接のエンド・ユーザー・サポートも含めてソフトウェアの更新を行います。詳細については、ソフトウェアのマニュアルに付属のユーザー登録および更新の資料を参照してください。

使用上の制限: Puma から事前に書面で許可を得ない限り、お客様が以下のことを行うことはできません。(a.) 本契約で明示的に認められている以外の本ソフトウェアまたは文書の使用、コピー、修正、改変、または譲渡。(b.) 本ソフトウェアの翻訳、逆アセンブル、逆コンパイル、逆プログラム、またはリバース・エンジニアリング。(c.) 本ソフトウェアまたはその文書のサブライセンス、またはリース。(d.) 複数ユーザー、ネットワーク、複数コンピューター環境、レンタル業務、時分割業務、またはコンピューター・サービス業務での本ソフトウェアの使用。

保証期間: Puma では、本ソフトウェアが付属の資料に従って購入日から 90 日間有効であることを保証します。本ソフトウェアに関するいかなる暗黙的な保証も 90 日間に制限されます。

エンド・ユーザーの救済: 本ソフトウェアが上記の「保証期間」の節に適合しない場合、Pumaの責任全体とお客様の唯一の救済方法としては、(a.) エラーを修正する、(b.) お客様によるエラー処理を支援する、のどちらかを Puma が選択することになります。
ソフトウェアの障害が事故、濫用、または誤用に起因する場合、保証期間は無効になります。
代替ソフトウェアは、元の保証期間の残りの間、保証の対象になります。

その他の保証の否認: 「保証期間」の節に明示された事項を除き、PUMA は本ソフトウェアに障害が発生しないことは保証しません。
PUMA は、製品の商品価値、特定の使用目的に対する適合性、および第三者の権利を侵害しないことの暗黙的な保証を否認するとともに、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアに関するその他すべての保証を否認します。司法管轄区域によっては、暗黙的保証の除外または暗黙的保証期間の制限、あるいは不慮の損害の有効期限の除外を認めておらず、上記の制限または除外がお客様に適用されないことがあります。この保証はお客様に特定の法的な権利を与えるものであり、お客様は司法管轄区域によって異なるその他の権利を持つ可能性があります。

必然的損害の責任の否認: いかなる場合においても PUMA は、本ソフトウェアの使用時または性能に生じるいかなる種類の必然的、特殊、不慮、または間接的な損害に対し、そのような損害の可能性が PUMA に伝えられていた場合においても一切の責任を負いません。

責任の限定: 何等かのクレームに対する PUMA の賠償責任は、契約事項の不履行、不法行為、またはその他いかなる賠償責任の理由によろうとも、お客様が PUMA に直接支払った使用許諾料を上限とします。

米国政府の権利の制限: 本ソフトウェアおよびその文書は、権利を制限して提供されています。
州または地方自治体による使用、複製、または開示は、DFARS 第252.227 の (c) (1) (ii) 項「技術データおよびコンピューター・ソフトウェアにおける権利」または48CFR 52.227-19 の「商用コンピューター・ソフトウェアにおける権利の制限」の (c) (1) および (2) 項に定義される制限に従います。 商標および特許: TranXit および Puma は、Puma Technology, Inc. の商標です。
その他の商標も、それぞれの保有者の所有物です。

適用法: 本使用許諾契約は、カリフォルニア州内で結ばれて実施されるカリフォルニア在住者間の取り決めにカリフォルニア州の法律が適用されるように、本使用許諾にもカリフォルニア州の法律が適用されます。この契約書に対する「国際商品販売契約に関する国連協定」の適用は、明確にかつ完全に否認します。

松下電器産業株式会社　情報周辺機器事業部
〒570 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号　TEL (06)908-1001

Printed in Japan
F0696-0
ITT0281AA